

令和6年度 地域公共交通調査等事業の事業評価について

大分市地域公共交通協議会

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和 7 年 1 月 31 日

協議会名:大分市地域公共交通協議会

評価対象事業名:令和6年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通利便増進事業(利便増進計画策定事業))

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は 地域公共交通計画等の 計画策定等に向けた方針
【事業内容】 ・路線バスの見直しの検討 ・交通事業者間連携の支援・調査 【結果概要】 ・鉄道と路線バスにおける事業者間連携の実現を目的に、「大分市地域公共交通利便増進実施計画」の策定について協議を進めてきた。 - こうした中、令和6年9月に鉄道事業者とバス事業者との包括連携協定が締結され、10月には一部地域にて鉄道との接続性向上のためのバスのダイヤ調整や相互の情報提供の充実化が実施されるなど、交通事業者の主体的な取組により、当初の事業目的を達成することができた。 ・令和6年10月ダイヤ改正にて、鉄道との接続性向上に向けたバス時刻の調整を実施した大南団地線における利用状況の分析を行う。 ・鉄道駅周辺以外の地域における路線バスの効率化に向けて、バス事業者とのヒアリングを踏まえ、複数の系統が運行する地域を対象とした路線バスの再編案について検討を行う。	A	市、鉄道事業者、バス事業者による3者協議や市と各事業者との個別協議を実施するなど、事業者間連携の主体となる交通事業者の意見を反映する中、事業は適切に実施された。	引き続き、事業者と利便増進計画策定の必要性を検討する中、利用者の利便性の維持や乗務員が不足する路線バスの運行効率化について、調査検討を進める。 【運行効率化に向けた取組に関する具体案】 ・路線が重複する系統の統合 ・経由の異なる同一方面の系統の整理 ・乗継拠点の検討 ・利用ニーズに即した系統・時刻設定